

## 相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	消化器内視鏡検査における鎮静薬使用に関する研究  (承認 No. 2025-104)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	消化器内科 医長 齊藤博美
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>近年は侵襲的な処置に限らず、内視鏡検査においても鎮静が普及しています。</p> <p>従来、消化器内視鏡診療時の鎮静薬として保険適応となっている薬剤はなく、これまで当院ではプロポフォールを用いて内視鏡検査・処置を行っていました。しかし 2025 年にレミマゾラムが消化器内視鏡診療時の鎮静の保険適応となったため、同年 12 月より消化器内視鏡診療時にレミマゾラムを導入開始しました。プロポフォールは鎮静効果が高く投与終了後の覚醒も良好でしたが、保険適応外の使用であることが懸念されていました。今回レミマゾラムを使用した際に検査時の鎮静効果、患者さんの苦痛軽減、使用コストについて優れているかどうかについて検討し、今後どの様な鎮静方法をとるべきかを検証する目的で本研究を行いたいと考えました。</p>
調査データ 該当期間	2025 年 10 月から 2026 年 9 月までの情報
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記期間内に消化器内視鏡診療時に鎮静下での検査を施行された方</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録（年齢、身長、体重、BMI、基礎疾患、内服、鎮静時間、薬剤最終投与までの時間、初回投与量、鎮静効果出現までの時間、鎮静効果出現時の投与量、検査中の総使用量、合併症として酸素投与、血圧低下、強い体動の有無、回復時間の逸脱、検査後の患者の自覚症状）を利用し、プロポフォールを使用した場合とレミマゾラムを使用した場合を比較します。</p> <p>●研究期間：2026 年 2 月 12 日～ 2027 年 4 月 30 日</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

様式 16

お問い合わせ先	相澤病院 消化器内科医 医長 齊藤博美 Tel : 0570-03-3600(代表)
備考	